

ゲストランナー

まつのあけみ
松野明美 (元オリンピックランナー)

【出身】熊本県

【経歴】

- 1987年 ニコニコ堂入社(ニコニコ堂女子陸上部発足)
- 1995年 引退
- 1997年 熊本県民テレビのニュースキャスターをつとめる。
- 1999年 ニコニコ堂女子陸上部の休部に伴い、ニコニコ堂を退社。
独立して「松野明美ヒューマンライフ」を設立。

【主な競技歴】

- 1985年12月(高校2年) 全国都道府県対抗女子駅伝県代表に選抜。
- 1986年6月(高校3年) インターハイ県予選 3000m10分2秒0
インターハイ南九州予選 3000m(失格)
- 1987年4月 海邦国体 5000m 優勝 16分35秒64
全日本実業団女子駅伝 12人抜き 10km区間賞 32分17秒
- 1988年5月 兵庫リレーカーニバルソウル五輪標準記録突破 1万m 優勝 32分57秒89
- 1988年6月 日本選手権 1万m 優勝 32分53秒75
ソウルオリンピック予選 9位 1万m 日本新記録 32分19秒57
- 1989年4月 熊本県選手権 1万m 日本新記録 31分54秒00
- 1990年 アジア大会(北京) 1万m 3位 31分56秒93
日本選手権 1万m 優勝 32分18秒71
- 1992年1月 大阪国際女子マラソン 2位 2時間27分02秒
- 1993年3月 名古屋国際女子マラソン 2位 2時間27分53秒
世界選手権(日本代表) マラソン 11位

【ベスト記録】

- 5000m 15分45秒(当時熊本県記録)
- 10000m 31分54秒(当時日本記録:日本人初の31分台)
- マラソン 2時間27分02秒(当時日本・アジア最高、初マラソン世界新)

【著書】

「いちばんじゃなくて、いいんだね。」 アスコム刊



【特徴】

駆け足が遅く、いじめられっ子でおとなしい性格だったが、小学校5年生のときに出場した町内陸上大会で優勝。1位でゴールしたときの両親の笑顔がうれしくて、マラソンに目覚め、「いちばんを目指す人生」が始まる。高校卒業後、ニコニコドーに入社し、陸上部に所属。

1987年、全日本実業団対抗女子駅伝に初出場し、12人をごぼう抜きする。これにより一躍注目のランナーとなる。1988年、ソウル・オリンピック1万メートル競走に出場。人の2倍、3倍、それでもだめなら4倍の猛練習をし、数々の記録を残す。

引退後、結婚し、2002年、長男・輝仁(きらと)が誕生。翌年、次男・健太郎がダウン症という障がいを持って生まれる。明るく元気な松野明美のイメージが崩れてはいけないと健太郎を一生隠そうと決心するが、日々の成長や笑顔が、心を少しずつ変化させる。

健太郎の子育てを通じて、人生は人との競争じゃない、いちばんじゃなくてもいい」と気づかされる。現在は、自身のマラソンや子育ての経験をもとに、講演、タレント、ゲストランナーなど幅広く活動をする。